

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0145/200510/06/03	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	家族介護健康教育	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	包括的支援事業・任意事業		担当部課名	健康福祉課		
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	高齢者福祉		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者を現に介護している家族				
	誰(何)を対象として	要介護者を現に介護している家族				
	意図(どのような状態にしたいのか)	可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	要介護被保険者を現に介護している家族に対し、介護状態の維持・改善を目的とした適切な介護知識・技術の習得等を内容とした教室を開催する。					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	教室回数	回			25	20
	人数	人			25	20

3 投入資源

会計区分		介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員			-	0.084	#####	0.081	96.4	
	主幹以下職員			-	0.010	#####	0.002	20.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	817,894	#####	714,796	87.4	
	事業費			-	82,500	#####	100,000	121.2	
	合計			-	900,394	#####	814,796	90.5	
財源内訳	国庫支出金			-	20,625	#####	25,000	121.2	
	県支出金			-	10,312	#####	12,500	121.2	
	市債			-		-		-	
	その他			-	41,251	#####	50,000	121.2	
	一般財源			-	828,206	-	727,296	87.8	
合計			-	900,394	#####	814,796	90.5		

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ教室回数の増減								
指標説明(式)	延べ教室回数の増減								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	20	#####	20	100.0	
	実績			-	25	#####			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

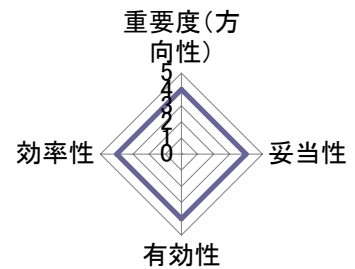
指標名1		教師1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		5,500円/回							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-	5,500	#####	5,500	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	自宅介護をしている家族に対し、介護状態の維持・改善の知識・技術等の習得の支援は介護予防の観点から重要と考えている。	4	4
	市民ニーズ	自宅介護者の家族への介護予防指導ニーズは高いと考えている。		
有効性	成果目標(改善)達成度	延べ25人の自宅介護の家族に対し、健康教育を実施し家族者の介護予防の支援を行った。	4	4
効率性	手段の最適性	地域包括支援センターと連携を密にし保健師が直接訪問し介護予防に関する健康教育を行っている。	4	4
	コストの節減	市及び在宅看護職会の保健師が訪問し、介護者の家族に対し介護予防に関する健康教育を行っている。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	健康増進事業と重複する可能性があるため、関係機関等の連携を密にしながら実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	自宅にて介護している家族に対し、地域包括支援センターと連絡を密にし対象者をリストアップし、他の事業と重複しないよう計画的に実施する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

関係機関と連携を密にし、事業が効果的に実施できるように努める。

検討の有無	-
総合指標	22